

製鉄所構内にある交差点で、交通事故、男性社員が重傷 この製鉄所では、今年に入り、作業中の事故で3人が死亡 監督署が3月1日に緊急安全パトロールをし、注意を促したばかりだった

2016.3.4 13:21
4日午前6時ごろ、大分県の製鉄所の構内にある交差点で、青信号の横断歩道を渡っていた関連会社の男性社員(57)が、別の関連会社の男性社員(65)の軽乗用車にはねられ、骨盤などを折る重傷を負った。警察が事故原因を調べている。2人はそれぞれ職場に向かう途中だった。同製鉄所内では今年に入り、作業中の事故で3人が死亡。大分労働基準監督署が1日に緊急安全パトロールをし、注意を促したばかりだった。

交差点 信号が、「青」に変わった！
チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中すること

駐車場から飛び出してきた乗用車！ 登校中の小学生、乗用車にはねられ死亡

2016年3月3日(木)11時54分
3日午前7時20分ごろ、群馬県で、病院の駐車場から飛び出してきた乗用車が登校中の小学1年の男児(7)とぶつかった。男子は胸などを強く打ち、搬送先の病院で約1時間半後に死亡した。警察によると、事故当時、男児は集団登校をしていたが、ほかのけが人は確認されていない。警察は乗用車を運転していた無職の男性容疑者(73)を自動車運転死傷処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで現行犯逮捕した。容疑者を同致死に切り替えて調べる。容疑者は病院の駐車場に止めようとした際、「アクセルとブレーキを踏み間違えた」と容疑を認めているという。車は駐車場の植え込みを乗り越えて市道に飛び出し、道路反対側を歩いていた男児をはねたという。

バスの運転手、突然気を失い、60m走行、電柱に衝突、停止 点呼では、異常がなかった

◆もし…歩行者がいたら、車がいたら…◆

◇もし…自分がその歩行者だったら、自分の車だったら…◇

2016/03/05 07:48
大阪市交通局は5日、市バスの男性運転手(47)が運転中に突然気を失い、バスが約60メートル走行した後、電柱などに衝突する事故を起こしたと発表した。乗客10人にけがはなく、運転手も命に別条はない。市交通局によると、4日午後9時半ごろ、バスの運転手が気絶。道路左側の電柱と柵にぶつかり、停止した。事故で異変に気付いた乗客が119番。運転手は救急搬送時に意識を取り戻した。運転手は勤続20年。持病はなく、4日昼に出勤した時の点呼でも異常はなかったという。

「もし私だったら」

大阪梅田暴走 献花絶えず 事故1週間

2016年3月3日(木)15時0分
大阪・梅田の繁華街で乗用車が暴走し、歩行者10人が死傷した事故は3日、発生から1週を迎えた。車が衝突した花壇のそばで手を合わせる人が絶えず、供えられる花や飲み物は日に日に増している。現場近くの会社に勤める女性(35)は、発生から数日間は恐怖心から現場付近を通ることができず、遠回りをして通勤していた。しかし、多くの人たちが立ち止まって手を合わせていることを知って以降は現場に立ち寄るようになったという。「一つ間違えれば私も事故に遭っていた。亡くなられた人は無念な思いがあったと思う。1週間でも1年でもこの思いは変わらない」と静かに手を合わせた。養護学校教諭の女性(65)は「事故を聞いて最初は悲しい気持ちばかりだったが、(今は)もし自分がその場に居合わせたとき、救急処置ができるのだろうか」と考えるようになった」と話した。

トラック運転手 「わき見をしていた」 大型トラックが、交差点の信号機の柱に衝突

[2016/3/3 13:08]
2日夜、秋田市で大型トラックが交差点の信号柱に衝突し、柱を倒す事故がありました。柱は根元から倒れましたが通行人などはいなかったため、この事故でけがをした人はいませんでした。現場は3車線から1車線へ車線が減少する場所です。トラックの運転手は「わき見をしていた」と話しているということです。

除雪作業中 バックしてきた除雪機に挟まれ死亡

[2016/3/4 22:38]
札幌市で4日午前11時半すぎ、除雪作業中のアパートの大家の男性(87)が除雪機とアパートの壁の間に挟まれる事故があり、男性は間もなく死亡した。警察は、男性が上り坂でぬかるんだところを除雪中、車輪が空回りし、バックしてきた重さ500キロ以上ある除雪機に挟まれたとみて調べている。

